

教科別研修講座報告

平成 30 年 10 月 26 日 (金)

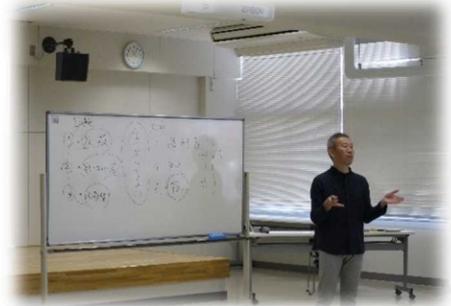
C401 小学校音楽科研修講座

「音楽の授業で取り入れたい『体を動かす活動』

講師 筑波大学附属小学校教諭 高倉 弘光 氏
義務教育課主任 田原 美和 氏

〈内容の詳細〉

- 1 これからの音楽教育～福井県の小学校において～（講義）
 - ・新学習指導要領改訂のポイント・3つの柱で再整理されたこと。
 - ・目標のとらえ方のポイント、内容構成、音楽科で育成を目指す資質・能力について
- 2 音楽の授業で取り入れたい「体を動かす活動」～常時活動・歌唱を中心に～（講義・演習）
 - ・音楽における「学習」とは？音楽を通して人間の生きる力を育むこと。
 - ・「スキップでこんにちは」「散歩じゃんけん」などを通して、拍で歩くこと、合いの手、フレーズと間を体で感じること⇒自分の正解は自分で切り開く⇒思考力に繋がる。
- 3 楽しく実践！音楽の授業～音楽づくりを中心に～（講義・演習）
 - ・音楽づくりから、何を考えさせようか、遊び(ゲーム)から始まる。「3時のおやつゲーム」⇒拍を感じる、思いと意図の違い、即興演奏へのつなげ方、レベルを段階的に徐々に上げること。
- 4 楽しく実践！音楽の授業～鑑賞を中心に～（講義・演習）
 - ・鑑賞の活動から、共通事項の何を取り入れるか。聴き取りは、よさや面白さを感じ取ること。
 - ・合いの手を聴き取らせるために「剣の舞」で立たせる。「白鳥」は体で旋律を描く等。



〈受講者の声〉

- ・音楽の学習で、子どもたちに教えなければいけない「フレーズ」や「拍」など、その概念をどう教えていいかわからなかったが、スキップやハイタッチなど、動きながら自然と子どもたちが感じたことから教えたことにつなげることは、本当に勉強になりました。
- ・技術重視の音楽の授業から、子どもたちに楽しいと感じさせながらもその中で思考させ、知識も与えるという、新しい授業のつくりかたに変えていくべき、と心から思った研修でした。

・授業の導入で使えそうな「スキップでこんにちは」「さんぼじゃんけん」などは、子どもたちの意識や興味を高めるにはとても良いと実感しました。気持ちも楽しく、笑顔になります。

・これまで受けた研修の中で一番楽しかったです。時間を忘れ、あっという間の中味の濃い時間。本当に幸せな時間でした。

